



[審査証明番号/有効期限]	BCJ-審査証明-255/2023年9月26日
[技術の名称]	環境配慮型アスファルト防水工法「タフネス防水工法」
[依頼者(審査証明取得者)]	昭石化工株式会社

[技術概要]

タフネス防水工法は、1枚または2枚の改質アスファルトルーフィングシートを溶融した低臭性の改質アスファルト系張付材で張付け施工する工法である。



[開発の趣旨]

タフネス防水工法は、タフネスシート SSS35 及び SSS30DE (改質アスファルトルーフィングシート、仕様により NEW ガード及び NEW フォルテを用いる。) とフジシールⅡ号 (低臭性の改質アスファルト系張付材) で構成され、使用する改質アスファルトルーフィングシートの枚数を 1~2 層に低減した改質アスファルト防水層である。そのことで、作業工程数および防水層の重量を削減し、さらに施工現場の周辺環境への影響を軽減させることを目的として開発したものである。



[開発目標および審査証明結果]

本技術について、前記の開発の趣旨、開発の目標に照らして審査された結果は、以下のとおりである。

- (1) タフネス防水工法は、1枚または2枚の改質アスファルトルーフィングシートをフジシールⅡ号 (低臭性の改質アスファルト系張付材) で張付けることにより、従来の熱工法によるアスファルト防水層と同程度の防水機能を有すると判断される。(適用種別: S110B 仕様、S110A 仕様、F110A 仕様、F310SA 仕様、F110B(DE) 仕様、F310SB (DE) 仕様)
- (2) タフネス防水工法では、優れた物性の改質アスファルトルーフィングシートを用いることにより、積層数を減少させ、張付け用アスファルトの使用量を削減し、作業環境や現場周辺環境への影響を軽減することができると判断される。
- (3) タフネス防水工法は、従来の熱工法によるアスファルト防水層と比較して、防水層の重量を軽減し、作業工程数の削減と施工の簡素化により作業効率が改善されると判断される。

対比仕様表

種別		タフネス防水	国交省仕様
露出防水	一般防水	S110B	C-2
		S110A	C-2
保護防水	一般防水	F110A	A-1
	断熱防水	F310SA	AI-1
	断熱防水	F110B(DE)	A-2
		F310SB(DE)	AI-2

[本技術の問い合わせ先]

企業名: 昭石化工株式会社

部署名: 製造供給部 技術開発課

TEL: 03-5531-7062/FAX: 03-5531-6811